

## e-Net 少額短期保険株式会社

## 平成27年度 貸借対照表

平成28年 3月31日現在 単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		
【流動資産】	【 1,349,197 】	【流動負債】	【 1,074,531 】
現金及び預金	479,061	支払備金	13,552
貯蔵品	5,087	責任準備金	228,178
未収保険料	301,034	未払金	17,005
未収金	186	代理店借	157,069
代理店貸	11,803	再保険借	565,570
再保険貸	507,460	仮受金	75,406
前払費用	6,300	未払法人税等	17,367
仮払金	25,622	未払事業税等	381
繰延税金資産	12,614		
未収収益	25		
【固定資産】	【 112,664 】		
(有形固定資産)	( 19,808 )	負債の部合計	1,074,531
営業用不動産	5,865	純資産の部	
リース資産	1,140	【株主資本】	【 388,495 】
その他の有形固定資産	30,661	(資本金)	( 207,000 )
減価償却累計額	-17,859	資本金	207,000
(無形固定資産)	( 42,694 )	(資本剰余金)	( 177,000 )
電話加入権	16	資本準備金	177,000
ソフトウェア	42,678	(利益剰余金)	( 4,495 )
(その他資産)	( 50,161 )	繰越利益剰余金	4,495
保険積立金	2,179		
差入保証金	13,718		
長期前払費用	15,532		
敷金	731		
供託金	18,000		
【繰延資産】	【 1,165 】		
繰延資産	1,165	純資産の部合計	388,495
資産の部合計	1,463,026	負債及び純資産の部合計	1,463,026



# 個 別 注 記 表

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

## I. 重要な会計方針に係る事項

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

不動産及び動産 定率法

無形固定資産 定額法

### 3. 当期末における支払備金及び責任準備金の内訳は次のとおりです。

#### [支払備金]

普通支払備金（出再支払備金控除前）	107,551,110 円
同上にかかる出再支払備金	<u>96,113,307 円</u>
差引（イ）	11,437,803 円
I B N R 支払備金（出再 I B N R 支払備金控除前）	21,993,932 円
同上に係る出再支払備金	<u>19,878,962 円</u>
差引（ロ）	<u>2,114,970 円</u>
計（イ＋ロ）	13,552,773 円

#### [責任準備金]

普通責任準備金（初年度収支残）	194,656,974 円
異常危険準備金	<u>33,521,725 円</u>
計	228,178,699 円

### 4. リース物件の所有権が借主の移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

### 5. 消費税等の会計処理は税込方式によっています。

### 6. 1株当たり純資産額は、2,660.9円であります。

### 7. 当期より税効果会計を適用しています。

## II. 貸借対照表に関する注記

### 1. 有形固定資産の減価償却累計額 17,859,647 円

### 2. 貸借対照表に計上した固定資産のほかリース契約により使用している重要な固定資産としてソフトウェアがあります。

## III. 損益計算書に関する注記

### 1. 収益及び費用の計上基準

①収益の計上基準は、発生主義に基づく実現主義で計上してしています。具体的には保険始期ベースで計上してしています。

②費用の計上基準は、発生主義で計上してしています。

### 2. 収益及び費用に関する金額

- ①正味収入保険料は、172,310,309円です。  
 ②正味支払保険金は、26,799,330円です。  
 ③支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次のとおりです。差額補充法によって積み立てています。

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	59,191,594円
同上に係る出再支払備金繰入額	54,416,567円
差引（イ）	4,775,027円
I B N R支払備金繰入額（出再I B N R支払備金控除前）	6,273,940円
同上に係る出再I B N R支払備金繰入額	5,730,969円
差引（ロ）	542,971円
計（イ+ロ）	5,317,998円

- ④責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりです。差額補充法によって積み立てています。

普通責任準備金繰入額（初年度収支残）	63,679,302円
異常危険準備金繰入額	4,516,923円
計	68,196,225円

3. 利息配当金収入は、主に八十二銀行の定期預金に係る預金利子であります。  
 4. 1株当りの当期純利益は、590.47円であります。

#### IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

当期事業年度の末日における発行済株式の数14万6千株であります。

#### V. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の総額は12,614,546円であります。  
 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳は、責任準備金12,614,546円であります。

#### VI. 関連当事者との取引に関する注記

関連当事者との取引は以下のとおりです。

##### 1. 関連当事者の概要及び当社との関係

- ①名 称 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
 ②議決権の所有割合 38.4%

##### 2. 取引により発生した債権債務に係る主な科目別の期末残高

(単位；千円)

科 目	残 高
再保険手数料(収益)	1,172,281
回収再保険金(収益)	217,269
再保険返戻金(収益)	105,787
再保険料(費用)	1,670,002
出向負担金(費用)	30,070
再保険貸(債権)	507,448
再保険借(債務)	565,570